

産業建設 常任委員会

本会議より産業建設常任委員会に付託された案件は、条例1件、予算関係4件、その他1件の計6件である。



指定管理者制度の準備に入った旧下延小学校跡地

■仙北市農村公園及び広場条例の一部を改正する条例制定について

問 下延農村公園に設置されている遊具やプールの安全対策は十分か。

答 遊具やプールは廃止の状態であり、危険を伴うものは排除したい。

意見 指定管理に至るまでは、すべての施設の安全を確認した上で、契約すること。

■仙北市一般会計補正予算

緊急雇用対策事業費

問 環境教育プログラム作成事業費についてのメリット、またデザイン室の目指す方向性は。

答 自然環境、自然エネルギーのパーツ単体としての素材はあるものの、パーツとパーツを組合せた総合的なプログラムはない。

緊急雇用対策費を活用し、旅行会社へ地元の2名を雇用していただき、プログラム作成に携わることにより人材が養成される。

デザイン室の目指す方向は、このプログラムを新しいネタとして、これまで来ていただいている学校や企業に加え、新しい学校や企業の旅行や研修の誘致に努めていく。

震災被災地

農林業ニーズ調査費

問 この調査費は具体的に何をするのか。

答 緊急支援として宮古市、山田町、大槌町の3



高齢化が進行する中で対策が急がれる仙北市農業

市町に支援を行って来たが、今後本格的な復興に向けて仙北市として、農林業の面でどのような支援が出来るのかを調査するための予算である。

行政関係者と市内の農家、JA関係の8人分の旅費と公用車のガソリン代である。

意見 被災地支援も大事

ではあるが、仙北市の農業事情も最悪である。調査した中から市の農業に活かすことがあれば活用してほしい。

秋田発子供双方向交流プロジェクト支援事業

問 この事業の対象校はどこか。

答 平成20年度から22年

度までは西明寺小学校が行っていた。
新たに中川小学校が手を挙げたもので、中川小学校の子供達が、東京へ行って交流する事業である。

◎採決の結果

全議案、全会一致で可決された。継続審査請願第一号「雲然地区の水害予防措置について」採択と決定。

最後に産業建設常任委員会の審査の中で、委員から当局に対して、次の点について意見が出された。

一、いかにも議案が可決するかのような、議案軽視とも受け取られる事業の執行は厳に慎むこと。
今後の業務遂行にあたっては、この点を重く受け止め議決に至るまでの手順をしっかりと踏むこと。

(安藤 記)